

カンボジア「中学校体育科教育指導書作成支援・普及プロジェクト」 2017年1月～2020年9月



スヴァイリエン州バサック中学校マット運動の授業

背景/課題

カンボジアではポルポト政権下で教育関係者が虐殺され、教育文書は残ってはいない。その影響から、現在でも中学校体育科教育の整備が遅れている。そのような状況の中、2006年～2016年には小学校体育科教育に対する協力を行い、大きなインパクトを残した。

目的

- 中学校体育科教育において学習指導要領および指導書に基づき、新しい体育科教育を普及する基礎が確立される。
- 学校体育・スポーツ局(DPESS)と国立体育・スポーツ研究所(NIPES)が中学校体育科教育の中央機関としての体制を確立し、人材育成を行う。
- モデル州・モデル校の関係者が新しい体育科教育を適切に実施できる能力を習得する。

活動内容

- DPESSとNIPESへ本邦研修、組織図の作成等を実施
- 対象校でのワークショップやモニタリングを通してモデル校での体育授業を実施

成果

- 「態度・知識・技能・協調性」が学べる新しい体育科教育を普及する基礎が確立した。
- モデル州・モデル校の関係者が新しい体育科教育を適切に実施できる能力を習得した。
- 指導書作成、指導書活用のワークショップの開催、教育省への提言により、全国共通の体育授業プログラムが確立した。